

水道事業会計の財政公表

市は、安全な水道水の安定供給を図るため、皆さんが納付する水道料金などを財源として、毎年度、計画的に水道施設の整備を行っています。

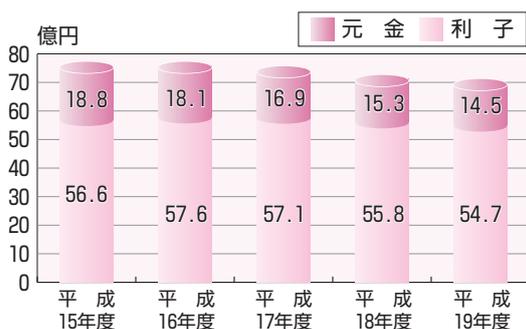
今月号は、平成20年度の予算執行状況などをお知らせします。

企業債の状況

市は、皆さんに安定的に水道水をお届けするために、管路の整備や耐震化などの建設投資を行っています。企業債はこれらの建設改良に伴う資金を必要とする場合に認められ、その財源として発行しました。

平成19年度は、2億9,960万円の企業債を発行し、これまで借入した企業債の元金4億1,178万円と利子1億5,333万円、合計5億6,511万円を支払いました（【グラフ1】参照）。

グラフ1 企業債の状況（各年度末残高）

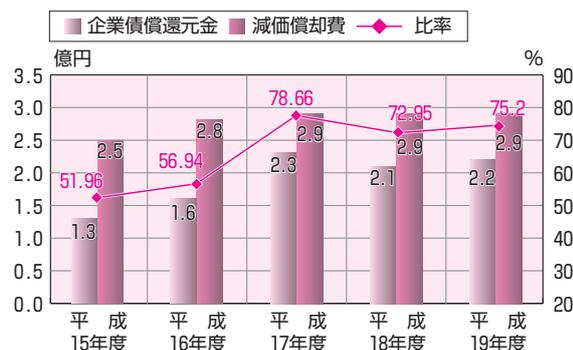


企業債償還元金と減価償却費のバランス

企業債償還元金が減価償却費よりも多くなると、償還するための資金がなく、純利益からその財源を求めなければなりません。このバランスを見ることにより財政の安定度を図ることができます（【グラフ2】参照）。

市では、この比率が増加の傾向にありますが、現在は企業債発行を抑え、安定した経営を行えるように努めています。

グラフ2 企業債償還元金と減価償却費の比率



※平成19年度の企業債償還元金については、4億1,178万円の内、企業債借換債分1億9,002万円を除いた金額で表示しています。

予算の執行状況（9月30日現在）

【収益的収支】

収入は、水道料金や受託工事収益などで、収入率は約49.3%となっています。一方、支出は、予算の約50%が年度末に経理を行う減価償却費や支払利息などの経費のため、執行率は約26.6%となっています（【表1】参照）。

【資本的収支】

収入は、予算の約99.2%が国などからの借入金で、その大部分のお金は年度末に交付されるため、現在の収入率は8.5%となっています。一方、支出は、配水管の整備事業や水道メーターの購入、借入金の償還などにより執行率は約30.5%となっています（【表2】参照）。

【表1】収益的収入および支出

収	科目	予算額	収入済額	収入率%
	水道料金	9億5,124万円	4億6,519万円	48.9%
受託工事収益	2,634万円	1,829万円	69.4%	
その他営業収益	2,743万円	1,208万円	44.0%	
営業外収益	39万円	0円	0.0%	
特別利益	0円	0円	0.0%	
計	10億540万円	4億9,556万円	49.3%	
入	科目	予算額	支出済額	執行率%
	受水費	1億7,199万円	7,069万円	41.1%
人件費	1億1,966万円	5,651万円	47.2%	
支払利息	1億4,685万円	6,878万円	46.8%	
減価償却費	2億9,953万円	0円	0.0%	
資産減耗費	3,160万円	0円	0.0%	
維持管理費	1億6,227万円	5,199万円	32.0%	
計	9億3,190万円	2億4,797万円	26.6%	

【表2】資本的収入および支出

収	科目	予算額	収入済額	収入率%
	企業債	2億7,440万円	2,230万円	8.1%
工事負担金	200万円	126万円	63.0%	
計	2億7,640万円	2,356万円	8.5%	
入	科目	予算額	支出済額	執行率%
	工事請負費	1億9,950万円	6,911万円	34.6%
企業債償還元金	4億4,212万円	1億4,867万円	33.6%	
人件費	2,948万円	1,269万円	43.0%	
量水器購入費	5,491万円	166万円	3.0%	
修繕費	227万円	7万円	3.1%	
委託料	3,005万円	0円	0.0%	
その他経費	957万円	192万円	20.1%	
計	7億6,790万円	2億3,412万円	30.5%	